

# 磐城時報

編輯兼社長 岡田弘成  
印刷所 磐城時報社  
電話 一四四  
廣告料 一行十四字 一月五拾錢  
日刊(日曜、祭日)休刊

## 炎天下の磐中校庭で

### 聯合青年團體競技

#### 二百余名の健兒跳躍

第八回石城郡聯合青年團體體育大會は二十日炎天焼くが如き高月臺磐城中學校庭で舉行された、午前九時聯合青年團長橋本磐城中學校長の開會の挨拶について、前年優勝陸上競技内郷青年團、武道平青年團から優勝旗並に優勝盃の返還あり、小野審判長の競技に關する注意があつて午前十時競技を開始した、午後二時までの結果左の如し

▲百米豫選  
A組、1平石田伸六郎、2湯本西田功  
B組、1内郷瀧田今朝吉、2草野山内龜代司  
C組、1小名濱草野順、2大浦坂本誠

▲同決選  
1小名濱草野順(十一秒四)  
2内郷瀧田今朝吉、3石田伸六郎、4草野山内龜代司、5大浦坂本誠

▲砲丸投決勝  
1泉佐藤兼介(十一米五〇)  
2内郷西牧清富、3草野山内龜代司、4湯本遠藤七郎、5神谷山下卓

▲千五百米豫選  
A組、1湯本田村勇、2草野瀧塚豊、3内郷寒河江武雄、4四倉高野武彦  
B組、1好間泉美一、2平橋狩廣太、3大浦鈴木幸平、4箕輪高萩芳長

▲四百米豫選  
A組、1大浦坂本誠、2山田大井川四郎  
B組、1内郷大谷岸雄、2湯本高橋小治郎  
C組、1平石田伸六郎、2高久阿部勝英

▲同決選  
1平石田伸六郎、2湯本高橋小治郎  
走中跳決勝  
1泉佐藤兼介、(六米四十一)湯本西田武夫、3四倉瀧田倉片寄秀士

## 磐越銀行の株金

### 拂込者一名もなし

#### 拂込金輕減方の陳情

破産銀行たる磐越銀行管財人が増田兩辯護士及裁判長を歴訪し最後の株金拂込金一株十七圓拂込金額輕減方を陳情したところ五十錢の減額を受けた株主は豫多歩歩を見出したが、尙ほめ覺悟を決めてゐたものらしく飽き足らず更に九月二日第二回債告の通知と同時に此の程湯本懇談會を湯本町公會堂に開き支町公會堂に株主總會を開いたが、拂込金の對策を講究する等であつた結果、拂込金額四十萬の巨額に議した結果交渉委員として平町達してゐるもの、支拂義務者二より花澤久一郎、前澤文太郎の百名の株主中支拂能力を有する二氏、好間村より金成茂吉氏、者は僅に七十名、この拂込金十泉村より田子祐太郎氏、植田町五六萬圓内外、財界不況が祟つ永瀬米治氏の五名を擧げ之等委て今の處拂込者が一名も無い有員は去る十六日管財人大山三雄様である。

## 四倉漁業組合の信用状態疑問視さる

### 築港資金借入問題

四倉漁港修築に對する四倉町寄星製藥所と登録商標侵害事件で附負擔十八萬六千圓の財源に訴訟中であるが、大阪市星製藥所は四倉町では縣の斡旋により所では東京星製藥所と同一商標を用ひた星胃腸藥を發賣して内務省の手によらず直接低利資あるので平町二丁目星製藥會社金を借り入れる方針に決したが代理店を通じ石城地方賣藥業者支店の待合室に手の切れるやう之が償還に關しては事實上四倉に對し大阪市星製藥所の藥を賣る新らしい百圓紙幣が遺失して町の負債となし築港完成の曉にれば訴訟を提起する旨の通知を發したので藥店では迷つてゐる出たが著し主は未だ判明しない

## 嫌な結婚を強ひられ

### 家出して女給生活

#### カフエースタージの美人の告白

平署で十八日妙齡の女を引致取調たところ東京府下妻町東五丁目志郎四女渡邊義江(二二)で當時平町驛前カフエースタージこと高橋貞治方に女給として住込み心にそはぬ生活を遂つてゐたが、事情を尋ねられた義江の涙ながらの告白によれば、父は東京星製藥株式會社では大阪市なりの兩親の勧めに結婚を強られた

## 星胃腸藥で

### 藥店迷ふ

石城郡内郷村大字宮字平太郎居の如き書置きがあつた。任茨城縣久慈郡太田町杉本久作任父交津萬吉(八一)は數年前から首筋にコブが出来たため最近では不眠症に陥つてゐたが、九月午前二時頃物置小屋内で細紐を吊し絶死を遂げたのを午前六時孫キヨが発見平署から佐藤部長出張検視した。現場には左

## コブを氣にして

### 八十一の老爺縊死

何ともしるべき書置きがあつた。ふ物置内で死にます、あこはよろしくたのみます、死ねば検査に來られるからあまりひごい着物でもいけなと思つて良い着物に着かへました。時刻は午前二時…… 萬吉

## 蠶糸法について

### 聯合協議會

石城郡町村長養蠶同業組合支部長、評議員の聯合會議は二十日平町團體事務所を開き、蠶糸業組合法實施に關し種々協議した

## 柳井自動車で治療代強要

石城郡湯本町天王崎地内内地内國道において宮城縣石の巻町堀村自動車部運轉助手阿部榮志(二二)の換給る宮第九六七號トラックと湯本町柳井貸切自動車部の側面衝突は既報の如くその後柳井側では阿部榮志に對し自動車修繕費七十圓と治療代として二百五十圓を要求し右金額を一時に支拂ふこと困難なれば前記修繕費と治療代の内金五十圓を支拂ひ、更に殘面は歸還した後送金すること、若し支拂ひないときは自動車をその代償として引取るからと強硬な交渉に阿部助手は歸ること出來ず途方にくれ湯本町山形屋旅館に滞在してをり、前記柳井側の裡面には兩者の間に立つて仲介の勞をとつてゐるもの、三百圓の懸念なる手段はないかと平署で取調中である。

## 一人娘の我儘

### 苦勞堪へぬ老母

石城郡内郷村大字宮長谷川サク(五〇)の一人娘ハツ(十七)は性來の不良の少女で再三出奔して來るが、去る六月又々行衛不明となつてゐた處新潟縣津川町でカフエーの女給をしてゐる事が判つたので母サクは平警察署から貸付であるといふ證明書を貰つて二十日連れ戻すため出發し

## 佐藤氏送別會

### 福島民友新聞記者佐藤正美君は

今向東京日々新聞浪江通信所詰となり二十二日赴任するので二十一日午後七時からマルトモホールで送別會を開く。

## 湊谷氏出發

### 石城郡

好間村古河炭礦庶務係長湊谷治郎氏は二十日午後一時二分平驛發列車で郷里高松市に立發した。

## 觀世素諾會

### 平町平

觀世會では今日午後六時かた。

**開院** (平町大町) (電話五〇二番)  
**難波醫院**  
 醫學博士 難波 睦  
 (入院需に應ず 自炊の便あり)  
 看護婦至急募集

**外科** 內臟外科 整形外科 醫學士 松永憲一  
**産科** 婦人科 院長 木村寅次郎  
 平町字新川町  
**木村病院**  
 電話一六四番

藥學博士 丹波敬三先生製藥指導  
 醫學博士 豊島豊次郎先生動物試驗  
 咳止の 妙藥  
**オピール錠**  
 平町一丁目(電話四六二番)  
 特約店 大平屋藥店

平町田町(電話五二三番)  
**高久病院**  
 醫學士 高久 忠  
 新瀨醫學士 赤羽 清  
 藥劑士 佐竹 菊雄  
 內科 小兒科 外科 花柳病科  
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

**外科** 專門  
**花柳病科** 專門  
 平町六丁目橋際  
**木村外科醫院**  
 電話三〇九番

**開業廣告**  
 私儀今般五月五日より左記箇所に醫院を開業耳鼻咽喉科  
 診察に從事可致候間將來何分の御後援に預り度く御挨拶  
 旁々御願ひ申上候 敬白  
 診療科目  
 耳鼻咽喉科 專門  
 氣管、食道科 專門  
 平町字南町一(元真木辯護士跡)  
**増田耳鼻咽喉科醫院**  
 本醫學士 増田 之

**外科** 專門  
**X光線科**  
 上田外科醫院  
 電話一二九番  
 病室完備 平町南町  
 入院應需

真享院新益の處時節柄  
 提灯御供物其他一切御  
 辭退申上候  
 昭和六年八月  
 平町字月見町  
**根本一馬**

大徳大 許允臣大徳大  
**磐城無盡**  
 東京市麻布區山元町十三番地  
 電話五二〇五番

**腸胃** 專門  
 腸十二指腸 胃 十二指腸  
**梅毒** 專門  
 淋病 皮膚病  
 院醫科 村松  
 (七〇一話電) 町南野平

**二葉印刷所**  
 平町仲町・電話一九三番

運動具と服装!!!  
 榮冠輝く品質  
 價格のフラインプレー!  
 平町前 **マルカ運動具部**  
 電話三十二番

**醫院開業**  
 專門 産科 婦人科  
 門 花柳病科  
 ◎午前宅診  
 ◎午後往診  
**井坂醫院**  
 平町田町(舊合津醫院跡)  
 電話五五九番

夏ハ あせも、たぐれト吹出物ニ  
 オ行水ヲ  
 冬ハ 温浴ヲ冷ニ込ミヨリ來ル諸病ニ  
**浴精** **バスエマー**  
 使用法 洗面數滴 試用二十五瓦入 貳拾錢  
 行水五瓦 定 小瓶二百瓦入 壹圓  
 風呂十瓦 價 大瓶七百瓦入 參圓  
 (送料十二錢)  
 東京市麻布區山元町十三番地  
 特約店募集 **小林商會**  
 電話五二〇五番